

おうち de がくれきはく【博物館紹介編】 ナレーション

京都では、今から約150年前の明治2年、日本初の学区制小学校である番組小学校が誕生しました。全国に小学校ができる学制の公布より3年早く、町の人々は、1年の間に何と64校もの小学校を設立したのです。この番組小学校は、現在の公立小学校の原型であり、その運営方法や教育内容は、後に創設される全国の小学校にも大きな影響を与えたと言われています。

京都市学校歴史博物館は、この番組小学校の創設をはじめとする京都の教育の歴史的意義を、数多くの歴史資料や美術工芸品によって明らかにし、後世に伝えるための施設として、約20年前、1998年に開館しました。京都市の繁華街四条河原町からほど近くに、番組小学校64校のうちの一校である、元・京都市立開智小学校の閉校後の校舎を改修し、学校の雰囲気を生かしながら、博物館として活用しております。

それではこの番組小学校が、なぜ京都市において誕生することになったのでしょうか？この小学校が誕生した背景には、幕末の当時京都が置かれていた特殊な状況がありました。

政治の中心であった京都は、当然幕末の混乱の中心にもなっていました。そして、そうした混乱の結果として、京都はとても大きな被害を受けてしまいます。それが元治元年、1864年に京都のまちを襲ったどんどん焼けです。この火災で現在の中京・下京の多くが焼けてしまうことになり、まさに京都は早急な復興が求められる状況になりました。

それに輪をかけて京都のまちを襲ったのが、東京奠都に伴う経済的な混乱です。首都機能が京都から東京に移ることによって、京都の人々は自分たちの商売や生活が危うくなってしまいます。このように幕末当時の京都は、政治や経済など、様々な部分から打撃を受けることになり、結果として京都のまちでは、未来に向けた復興の取り組みがそのぶんだけ強く求められるようになっていたのです。

そこで注目されたのが「教育」、つまり学校の創設でした。新しい時代に必要な知識・能力をもった次世代が育てられれば、京都のまちを復興させ、さらに成長させていくことができるでしょう。そうした経緯で京都のまちに、明治2年という維新の直後に出来上がった施設こそが、人々の多大な努力に支えられて開校を迎えた、番組小学校だったのです。

そして、その番組小学校の創設の際に大きな力となったのが、町衆を代表とする町の人々の奮闘でした。町の人々は番組小学校設立のためにお金や土地を寄付したり、学校の運営のために鰻金という形でお金を出し合ったりしました。まさに町の人々の努力によって、番組小学校は誕生することができたのです。また町の人々は、より良い学校をつくりあげていくために、様々なアイデアを出し合ったりしました。その結果、完成した番組小学校は地域のための様々な役割も担うようになり、現在で言う地域のコミュニティセンターの機能も果たしていたのです。

現在の京都市にある小学校は、そのほとんどが番組小学校に影響を受ける形で、創設されていくことになりました。つまり番組小学校より遅れて創設された周辺部にある小学校も、番組小学校を先例として学ぶことによって、自分たちの地域の学校を完成させていったのです。いわばこうして京都市の現代の教育の土台をつくったのが、番組小学校にほかなりません。京都市学校歴史博物館は、この番組小学校の歴史をリアルに体感し、その貴重な歴史を次世代に継承するために、展示、資料収集、研究を行っている博物館なのです。